令和４年度第１回千葉市若葉区公民館運営審議会 議事録

１　日　時　令和４年７月１３日（水）１４時００分～１５時００分

２　場　所　千城台公民館２階　ホール

３　出席者　委員１５人中１３人

池田 幸夫委員、石川 徹委員、糸日谷 美奈子委員、小池 拓委員、
菅原 啓二委員、但田 禮子委員、中島 輝夫委員、中島 俊哉委員、
中村 英明委員、林 保子委員、日野 敬子委員、布施 正勝委員、
八倉 玲子委員

事務局

千葉市教育委員会事務局３人

土肥 慶典課長補佐（生涯学習振興課）、積田 浩二主査（生涯学習振興課）
寺村 詠美子主任主事（生涯学習振興課）

千葉市教育振興財団（公民館管理室、若葉区公民館）１０人

中村 文香主査（公民館管理室）、山田 芳久館長（千城台公民館）、
小林 秀典館長（更科公民館）、林 秀行館長（白井公民館）、
浅子 聡主事（加曽利公民館）、松本 清孝館長（大宮公民館）、
三上 義昭館長（みつわ台公民館）、伊藤 直樹館長（若松公民館）、
小野 史博館長（桜木公民館）、大木 操副館長（千城台公民館）

４　議　題

（１）報告事項

ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について

イ　令和３年度千葉市若葉区公民館事業報告について

（２）協議事項

ア　令和５年度千葉市若葉区公民館事業計画について

（３）その他

５　議事概要

（１）ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について、千城台公民館より報告した。

イ　令和３年度千葉市若葉区公民館事業報告について、各公民館より報告した。

（２）ア　令和５年度千葉市若葉区公民館事業計画について提案、質問等を伺った。

６　会議経過

・　開会

・　千葉市生涯学習振興課課長補佐挨拶

・　委嘱状の交付
・　委員紹介
・　事務局職員・若葉区公民館長の紹介
・　委員長・副委員長選出(互選により、小池委員を委員長、菅原委員を副委員長に選任)
・　委員長・副委員長挨拶

（1）報告事項

ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について

会議資料に沿って、若葉区全体の利用状況、利用人数、利用回数について、千城台公民館より説明した。また、若葉区公民館図書室の整備状況、貸出状況等について説明した。特に質問、意見等はなかった。

イ　令和３年度千葉市若葉区公民館事業報告について

会議資料に沿って、若葉区公民館の事業について、千城台公民館から桜木公民館まで順次説明した。

糸日谷委員：みつわ台公民館のスマートフォン講座が大変人気があったという話だったが、他の公民館ではこの講座は人が集まらなかったという中で、みつわ台公民館ではどのような講座だったのか教えてほしい。

三上館長：みつわ台公民館では市役所のスマートシティ推進課と連携してスマートフォン講座を 4 回実施したが宣伝の仕方を工夫した。市政だよりに掲載したときに記事の案内が複雑でわかりにくかったので、それが応募が少なかった要因になったのではないかと思われる。4 回の講座では基礎から始まり、4 回目は LINE の使い方を習得するというバリエーションに富んだ内容で実施した。応募者数は定員の約２倍であり、この講座は必要だと考えている。

土肥課長補佐：スマートフォン講座の追加説明だが、昨年度の途中から国のデジタルデバイド対策して、千葉市のスマートシティ推進課が主導のもと、公民館や生涯学習センター等いろいろな施設を利用して、ご高齢の方を対象にしたスマートフォン講座を実施するという流れがある。公民館では何年も前から各館で実施しているが、昨年はスマートシティ推進課と互いにうまく連携が取れずにいた。市政だよりでは市の講座は公民館の講座案内の場所とは別のところに掲載していたので、昨年度の後半からは記事を載せるページを調整して協力体制を取りながら進めている。

池田委員：公民館の分類のところに、家庭教育、少年教育、成人教育、高齢者教育と分けているが、対象の年齢はどのような人を対象にしているのか。

土肥課長補佐：高齢者教育の場合は厳密に 65 歳以上を対象とすることはしていない。成人教育は高齢者ではない人を対象にしているという厳密なルールではない。主に対象となる人が高

齢者の場合は高齢者教育、より対象の年齢の幅が広い場合は成人教育という形になっている。

池田委員：募集するときに例えば高齢者の人を 60 歳もしくは 65 歳以上、成人教育の人を 20 歳以上という形で募集をしているのか。

土肥課長補佐：募集の際に何歳以上を対象にするという表記をしているものもあればそうではないものもある。

池田委員：加曽利公民館の少年教育の中でスライムづくり、勾玉づくりを実施しているが、勾玉づくりは小学校６年生の社会科、縄文弥生のところで体験的な活動を実施している学校が多くある。学校現場と公民館の講座の兼ね合いはどのように考えているか。

土肥課長補佐：小中学校の各学年の授業の内容と講座の内容はある程度合わせている。千葉市の場合は公民館長や職員に教員のＯＢが多くいるので近隣の学校と情報交換・調整をして講座の設定をしている。

池田委員：各公民館の主催講座を見ると内容的には良いものがあるが、１回限りのものが非常に多い。地域の人たち、例えば高齢者の人が定期的に連続した講座に参加できるようにするとよいと思う。自分たちの地域を知る等、定期的な講座を設定すると地域の人が参加しやすい。多くの講座からそれを精選して実践していくとより良い講座になると考える。公民館は地域における学びの場であり、仲間づくりの場であるので１年通して、または半年、３か月等、連続した取組の中で環境や SDGs 等を組み込んでいくと魅力的な講座となり、皆さんが参加しやすくなるのではないかと思う。

土肥課長補佐：千葉市の公民館では連続講座が少ないと思うので、今後現場および教育振興財団と検討していきたい。

（２）協議事項

ア　令和５年度千葉市若葉区公民館事業計画について

公民館における講座等の取り組みについて意見や提案を伺った。

小池委員長：先ほど報告いただいた内容から、もしくは委員の皆様が日頃感じている課題を踏まえてご意見や提案をお願いしたい。

糸日谷委員：みつわ台公民館で令和３年度は中止になったカレーおばさんだが、今年度８月４日に開催されると聞いている。心待ちにしていたという声をたくさん聞いているので、ぜひ実施して欲しい。もう１点は、６月３０日にオンライン防災講座に講師として参加させていただいた。コロナ禍で公民館の活動が制限されている期間中にオンラインで配信できたことは画期的であった。その時、災害用備蓄品を見せてもらったが、アップデートされていて驚いている。

このようなアップデートされている公民館の様子を知る機会がない。講座等で我々が知る機会があればよいと思う。

土肥課長補佐：公民館のアップデートに関する情報発信について、公民館だよりは作成しているが、SNS やインターネットを活用しきれていない部分もある。今後、新しくなった公民館の情報をいろいろな人に届くように考えていきたい。

三上館長：カレーおばさんの件だが、再開に向けて実行委員会と進めているが、今は非常に気温か高いので、テイクアウトのタコライスを考えている。

池田委員：更科公民館のアフタースクールの説明があったが、学校ではできなかった部分を公民館で身につけられる。そして、分からないところが分かるようになるのは子供たちにとって喜びになるのでぜひ続けてほしい。

土肥課長補佐：アフタースクール事業は、放課後子ども教室と子どもルーム一体型であり、千葉市としては今後少しずつ増やしていく方向である。ただし、場所は学校の空き教室の状況等を踏まえ、今後も公民館で実施するかどうかを検討していきたい。

（３） その他　なし

・閉会